

令和 6 年度 事 業 報 告

令和 6 年度は、ポストコロナ時代において赤い羽根共同募金の役割を発揮していく上で、多くの取り組みにチャレンジした 1 年となりました。

令和 5 年度より設置した「共同募金のあり方検討委員会」では、「募金目標額の設定」「地域住民による募金活動の促進」「募金運動への参画の拡大」「広域配分のあり方」の各論点について検討を行い、今後の方向性の取りまとめを行いました。関係者の声を集めて、運動の現状と課題を共有する貴重な機会となりました。

また、中央共同募金会が新たに開始したモデル事業を本会でも実施することとなり、広報・啓発活動の強化に向けた新たな取り組みを行いました。

令和 6 年度の共同募金運動の募金実績は、一般募金が 436,515,151 円（達成率 95.1%）、地域歳末たすけあい募金が 113,404,052 円（達成率 94.4%）、NHK 歳末たすけあい募金 17,494,877 円（達成率 97.2%）となりました。地域歳末たすけあい募金は減少しましたが、一般募金は大口寄付があったことにより、平成 21 年度以来の前年度比増となりました。また、NHK 歳末たすけあい募金も増加しています。しかしながら、募金実績が増加した市区町は 1 割にも満たず、募金種別の内訳では、戸別募金が約 1 千 2 百万円減少するなど、依然として厳しい状況が続いています。

運動開始にあたってのキックオフイベントは宝塚市で開催し、多くの関係者の参画による啓発活動を実施しました。また、令和 6 年度はスポーツ団体との協働を進める「ひょうご赤い羽根サポーター」の取り組みに着手し、特にヴィッセル神戸とはサポーターとしての就任式を開催し、より多くの県民に対して共同募金の認知を高めていく機会とすることができました。

令和 5 年度に集まった募金については、県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉関係団体及び県域・広域で活動を行う社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO 等の事業費として配分するとともに、将来の大規模災害に備えた準備金として積み立てを行いました。

本会の中期計画である「ひょうご共同募金運動推進 2025 年計画」（2021～2025）は 4 年目を終えました。次年度は「共同募金のあり方検討委員会」の議論を踏まえて、次期計画の策定を進めていくことになります。

今後も本会では、「じぶんの町を良くするしくみ」としての共同募金運動を積極的に展開していくとともに、生活・福祉課題の解決に向けた配分事業の一層の「見える化」を推進しながら、社会福祉協議会とともに地域福祉活動への参画の輪を広げていくことを目指します。

1. 共同募金運動の積極的展開

「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」に基づき中期的な視野に立った強化方針に沿って、課題解決に向けた取組みを推進しました。また、地域福祉財源の十分な確保ができるよう、地域の特性に応じた多様な募金方法により多くの協力者の参加促進を図り、配分については、配分委員会で慎重に審議し、配分計画の策定及び配分を実施しました。

(1) 「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」の普及と推進

- ① 共同募金運動強化推進モデル地区事業 モデル地区指定数 5地区
神戸市灘区共同募金委員会「神戸松蔭女子学院大学の学生による『デザインを通した地域とのつながりづくり事業』」
神戸市西区共同募金委員会「神戸芸術工科大学・小学生との協働による『あかはねデザインラボ』」
たつの市共同募金委員会「赤い羽根共同募金運動 in たつの『みつけるマルシェ』の開催」
上郡町共同募金委員会「『赤い羽根ご優待クーポン』の作成」
洲本市・南あわじ市・淡路市共同募金委員会「阪神タイガース淡路島出身選手とコラボした淡路島限定ポスターの作成」
- ② 共同募金委員会現況調査 実施時期 2～3月
- ③ 共同募金運動強化推進の事例収集・共有

(2) 共同募金運動の活性化に向けた検討

- ① 共同募金のあり方検討委員会の設置・開催
7月 9日 10名、オブザーバー2名
12月16日 11名、オブザーバー1名
2月20日 9名、オブザーバー1名
- ② 共同募金のあり方検討ワーキング会議の設置・開催
5月 8日 6名、オブザーバー等4名
6月26日 6名、オブザーバー等3名
11月25日 6名、オブザーバー等3名
2月17日 6名、オブザーバー等3名

(3) 共同募金運動の推進

- ① 受配要望のとりまとめ

＜要望数・金額＞

社会福祉施設	11施設	14,000,000円
県社協		6,000,000円
49市区町社協		359,553,000円

② 兵庫県社会福祉協議会による社会福祉法第119条に基づく意見書の受理

③ 配分計画の立案

＜一般募金＞

(広域配分)

社会福祉施設 8,890,000円

社会福祉団体、更生保護団体、
ボランティア団体・NPO等 2,000,000円

県社協 6,000,000円

(災害等準備金積立金)

災害準備金 17,917,000円

(本部・共同募金委員会活動費)

本部・共同募金委員会活動費 62,126,000円

(地域配分)

地区福祉事業費 359,553,000円

合 計 459,186,000円

④ 募金部会 7月23日 33名

令和6年度共同募金目標額

＜一般募金＞

広域目標額 85,833,000円

地域目標額 370,321,000円

期間拡大目標額 3,042,000円 (実施18地区)

合 計 459,196,000円

⑤ 共同募金運動の実施

＜一般募金＞

実績額 436,515,151円

目標額に対する達成率 95.1%

⑥ 募金の配分 (令和7年度事業費)

＜一般募金＞

(広域配分)

社会福祉施設 11,050,000円

社会福祉団体、更生保護団体、
ボランティア団体・NPO等 2,000,000円

県社協 6,000,000円

生活困窮者への緊急支援活動助成
2,960,000円

(災害等準備金積立金)

災害準備金 16,841,000円

(本部・共同募金委員会活動費)		
共同募金委員会活動費		20,591,000円
本部活動費		46,382,118円
(地域配分)		
地区福祉事業費		348,809,033円
合 計		454,633,151円

2. 配分金の有効活用と監査の実施

令和5年度分の一般募金について、県内の地域福祉の推進に向けて生活・福祉課題の解決を目指す活動に対する配分を行いました。また、令和6年度分の配分にあたり、配分委員会において審査及び協議を行うとともに、受配団体に対し事務説明等により配分金の適正な活用を求めました。

また、寄付者の信託に応えるため、受配団体の募金の活用状況や経理処理等について監査部会による監査を実施しました。

(1) 配分の実施

配分委員会の開催	7月26日	11名
	8月22日	8名
	11月12日	8名
	12月 6日	10名
	3月 4日	11名
「社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO支援事業」の審査・決定		
	9件	1,640,000円

(2) 監査の実施

監査部会の開催	10月31日	5名
	2月27日	4名
受配団体監査	社会福祉施設	1カ所
	社会福祉関係団体	2カ所
	社会福祉協議会	3カ所

3. 広報・啓発活動の積極的推進

共同募金運動への理解を広げるため、各種広報・啓発資材を作成し活用を図るとともに、情報提供手段として広報誌の他、ホームページ、SNS、「赤い羽根データベースはねっと」等により、募金活動や配分事業に関する情報を公表しました。

また、マスコミや行政、関係団体、配分先団体を通じて啓発・広報に取り組むこと

により、住民・寄付者への情報提供と募金活動への参加協力を積極的に呼びかけました。

さらに、幅広い世代へ向けたPRのため、オリジナル資材の作成をはじめ、マスコット「あかはねちゃん」の着ぐるみ・ぬいぐるみ・等身大パネル及びガチャガチャ機械の貸出等の活用を図りました。

(1) 広報啓発活動の実施協議、関係機関・団体との連携

広報部会 7月10日 8名、
2月28日 6名

キックオフイベント 10月 1日

ソリオ宝塚メインプラザ広場及び阪急宝塚駅周辺（宝塚市）

マスコミ、関係機関、受配団体等への広報・啓発の依頼

受配先団体による配分事業を通じての広報強化

「ひょうご赤い羽根サポーター」活動の推進

ヴィッセル神戸就任式 9月5日、ノエビアスタジアム神戸

コラボグッズの作成 クリアファイル 2,000 枚 クリアポーチ 1,000 個

「あかはねちゃんサポーター」の募集

広報・啓発活動強化事業（中央共同募金会モデル事業） **新規**

共同募金のあり方検討委員会・広報部会等における協議 年間

広報・啓発活動の現状の点検と戦略立案

赤い羽根PR映像コンテストの実施

募集：9月24日～12月27日 応募作品：5件

募金・配分活動に関する動画の作成 1件

ホームページのリニューアル 3月

(2) 共同募金のスローガン、ロゴマーク、マスコット等の普及と活用

「赤い羽根ひょうごスローガン」の活用

共同募金ロゴマーク、キャッチフレーズの活用

マスコット「あかはねちゃん」によるPR活動

着ぐるみ 29件(着ぐるみ作成 3月)／等身大パネル 5件／

ぬいぐるみ 5件／キッズあかはねちゃんの衣装 2件

ガチャガチャ機械の貸し出し 5件

近畿統一記念バッジデザイン募集・審査・決定

(3) 多様な媒体による広報の実施

「赤い羽根シール」や兵庫県オリジナルポスターの作成 6～8月

「共同募金News」の発行 9月

広報・募金資材の作成、配布と活用 6～3月

「赤い羽根データベース『はねっと』」の運用
ホームページ、SNSの運営
投稿件数：Instagram 71件、X（旧Twitter）75件
新聞広告、テレビ・ラジオスポット・大型ビジョンの活用

4. 募金の強化に向けた取組みの積極的展開

募金の強化に向けて、様々な方法による募金活動を実施しました。また、寄付者に対して感謝の意を表するため、共同募金運動に貢献があった個人・団体等へ、顕彰を行いました。

（1）多様な募金活動の実施

法人・職域募金の推進
スーパー、ドラッグストア、ホームセンター等への依頼
募金百貨店プロジェクトの推進
実施店舗総数 183店舗／22市区町・県本部
期間拡大募金の実施
実施地区 18市区町
うちテーマ型募金 6区市
園児・小中高生等への福祉学習活動の推進
募金付自動販売機の設置促進
設置総数 67台（25市区町）
インターネット募金の普及
新たな募金手法の推進（キャッシュレス決済を用いた募金等）

（2）寄付に対するお礼と顕彰事業の実施

寄付に対するお礼の実施 随時
顕彰審査委員会 7月9日 委員4名
県共募会長表彰 個人64名、団体74団体
県共募会長感謝 個人91名、団体173団体
功労者・団体への表彰の推薦
県知事表彰 個人6名、団体15団体
中央共募会長表彰 個人6名、団体2団体
厚労大臣表彰 個人1名
高額寄付者への感謝 個人32名、団体10団体

5. 市区町共同募金委員会の支援と県共同募金会の運営

組織運営のため、理事会・評議員会等及び部会・委員会を開催しました。また、共

同募金運動の推進機関である市区町共同募金委員会の組織強化を図るため、市区町共同募金委員会の組織整備を支援しました。

(1) 市区町共同募金委員会の支援

市区町共同募金委員会事務局長会議	8月26日	42名
	2月25日	39名
市区町共同募金委員会担当者的会議	7月25日	39名
	1月30日	34名
新任担当者説明会（オンライン開催）	4月24日	40名
会計システム説明会（オンライン開催）	4月25日	40名（基礎編）
		43名（決算編）
市区町共同募金委員会における会計システムの活用支援		
	システム導入	50地区
市区町共同募金委員会活動費の交付	6月	12,519,707円
	8月	8,085,000円

(2) 理事会・評議員会・監事会等の開催

第261回理事会 6月 6日 理事13名 監事3名

1. 令和5年度共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和5年度事業報告について
3. 令和5年度決算について・決算監査実施報告
4. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
5. 参与の委嘱について
6. 任期満了に伴う配分委員会委員の選任について
7. 社会福祉法人兵庫県共同募金会職員就業規則の一部改正について
8. 社会福祉法人兵庫県共同募金会旅費規程の一部改正について
9. 定時評議員会（第215回評議員会）の招集について

第262回理事会 8月 5日 理事15名 監事2名

1. 令和6年度共同募金目標額について
2. 令和6年度共同募金配分大綱について
3. 令和6年度共同募金運動実施要綱について
4. 令和6年度補正予算について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 退任に伴う理事候補者の選定について
7. 顧問の委嘱について

8. 第216回評議員会の招集について

第263回理事会 3月12日 理事12名 監事3名

1. 令和6年度共同募金の結果及び配分について
2. 令和6年度補正予算について
3. 令和7年度事業計画について
4. 令和7年度予算について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 役員等賠償責任保険契約の締結について
7. 第217回評議員会の招集について

定時評議員会（第215回評議員会） 6月24日 評議員18名

1. 令和5年度共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和5年度事業報告について
3. 令和5年度事業決算について・決算監査実施報告
4. 退任に伴う配分委員会委員の選任について

第216回評議員会 8月20日 評議員19名

1. 令和6年度共同募金目標額について
2. 令和6年度共同募金配分大綱について
3. 令和6年度共同募金運動実施要綱について
4. 令和6年度補正予算について
5. 退任に伴う理事の選任について

第217回評議員会 3月26日 評議員18名

1. 令和6年度共同募金の結果及び配分について
2. 令和6年度補正予算について
3. 令和7年度事業計画について
4. 令和7年度予算について

正副会長会議 4月 8日、5月27日、7月 8日、9月 9日、11月 5日、
12月 2日、1月14日、2月10日、3月 3日

監事監査

定期会計監査	4月26日	1名、5月16日	1名
決算会計監査	5月23日	1名	
決算事業監査	5月23日	2名	
定期事業監査	11月28日	1名	

評議員選任・解任委員会	6月14日議決	選任 2名
	8月 9日議決	選任 2名
	3月17日議決	選任 1名

6. 緊急災害に対する支援

「災害支援制度運営要綱」に基づき、国内の大規模災害時の活動資金支援として準備金の積み立てを行いました。

また、国内自然災害の発生による義援金の募集について、全国の都道府県共同募金会とともに広報周知を図りました。

(1) 災害等準備金の積立及び支援

①積立

令和6年度募金による積立額を16,841,000円としました。

②支援

災害支援制度運営要綱に基づく災害等準備金の拠出はありませんでした。

【収支状況】

〔収入〕 令和5年度末積立金額	51,934,000円
令和6年度積立額	16,841,000円
収入合計	68,775,000円
〔支出〕 令和3年度積立金取崩額	17,678,000円
支出合計	17,678,000円
〔当期末資金残高〕	51,097,000円
(内訳) 令和4年度	17,435,000円
令和5年度	16,821,000円
令和6年度	16,841,000円

(2) 県内で発生した災害への対応

①緊急配分資金による対応

- ・見舞金の交付はありませんでした。

【収支状況】

〔前期末資金残高〕	24,726,787円
〔支出〕	0円
〔当期末資金残高〕	24,726,787円

(3) 県外で発生した災害への対応

県外で発生した災害の義援金・支援金募集について広報周知を図りました。また、義援金の領収書発行希望者への発行手続きを行いました。

※ () 内は募集期間

- (1) 令和6年能登半島地震災害義援金（石川県）(R6/1/4～R7/12/26)
- (2) 令和6年能登半島地震災害義援金（R6/1/5～R7/12/26）
- (3) 令和6年能登半島地震災害義援金（富山県被災者支援分）（R6/1/5～R7/3/31）
- (4) 令和6年能登半島地震災害義援金（新潟県被災者支援分）（R6/1/9～R7/12/26）
- (5) 令和6年能登半島地震災害義援金（福井県被災者支援分）（R6/1/16～R6/12/27）
- (6) 令和6年度秋田県大雨災害義援金(R6/8/1～R6/12/27)
- (7) 令和6年7月山形県大雨災害義援金（R6/8/1～R7/3/31）
- (8) 令和6年7月大雨災害義援金（R6/8/2～R6/12/27）
- (9) 令和6年能登豪雨災害義援金（石川県）(R6/9/26～R7/12/26)
- (10) 大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金（岩手県）(R7/3/6～R7/6/30)

(4) その他

- ① 令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会（募集期間R6/1/4～R6/6/28）に参画し、広報周知を行いました。
- ② 令和6年台湾東部沖地震兵庫県義援金募集委員会（募集期間R6/4/8～R6/7/31）に参画し、広報周知を行いました。

7. 歳末たすけあい運動の展開

地域歳末たすけあい運動について「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、地域福祉の推進を目的として市区町共同募金委員会が中心となり募金運動を進めました。配分については、プライバシーの保護や個人の尊厳を尊重し、援助を必要とする人々を支援する活動や事業を中心に配分するよう市区町社会福祉協議会と調整を行いました。

また、NHK歳末たすけあい運動を展開し、県域・広域で社会的な援助を必要とする人々を支援している団体の事業費や、障害福祉サービス事業所等の備品整備費等に配分しました。

①地域歳末たすけあい運動の実施

＜募金目標額＞ 120,077,000円

＜募金実績額＞ 113,404,052円

目標額に対する達成率 94.4%

＜配分内訳＞

地域福祉・在宅サービス事業費 80,504,558円

在宅・施設利用者への贈呈事業費	25,908,689円
歳末事務費	6,645,417円
翌年度繰越金	34,369,080円
地区福祉事業配分金充当	8,331,788円
合 計	155,759,532円
(前年度繰越金42,355,480円を繰り入れ配分)	

②NHK歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 18,000,000円

<募金実績額> 17,494,877円

募金取扱機関 中央共同募金会、兵庫県共同募金会、
NHK神戸放送局、JA県信連他

目標額に対する達成率 97.2%

③NHK歳末たすけあいの受配要望のとりまとめ及び審査、配分

<1次配分>

社会福祉関係団体	25件	3,560,000円
社会福祉施設連盟	8件	1,100,000円
更生保護施設	1件	200,000円

<2次配分>

障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター、 放課後等デイサービス、児童発達支援事業所	36件	11,100,000円
---	-----	-------------

<経費（中央共募・県共募）> 933,995円

<翌年度繰越金> 3,696,307円

合 計 20,590,302円

④NHK歳末たすけあい配分式 12月11日

8. 特定・指定寄付金の取り扱い

特定・指定寄付制度に関して、寄付者や受配予定者等からの相談を受け付け、寄付金にかかる税制上の優遇措置の取り扱いについて適正な運営を図りました。

特定・指定寄付金審査委員会 開催なし

特定・指定寄付金に関する相談対応 随時

9. 各種助成金の推薦業務等

①公益信託前田清栄老人福祉基金の申請受付・配分調整・推薦

推薦 13件 10,050,000円

②神戸ヤクルト販売株式会社寄付金の配分調整・交付

寄付金受け入れ 12月11日 4施設 1,236,844円

③その他助成金、寄付金の配分調整・推薦業務

三菱電機SOCIO-R00TS基金寄付金の受け入れと助成金贈呈

寄付金受け入れ 3月14日 6団体 2,437,814円

株式会社ダイヘン「2024年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」

神戸市内の施設・団体等 68件 33,170,000円

10. その他法人運営について

社会福祉法人現況報告書の提出